

# 2020 年度 株主通信

## BUSINESS REPORT 2020

2020年1月1日～2020年12月31日

すべての革新は患者さんのために

### 中外製薬株式会社

証券コード：4519

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。まずは、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、医療従事者をはじめとする感染拡大防止にご尽力されている皆様に深く感謝申し上げます。

ここに2020年度(2020年1月1日から2020年12月31日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2021年3月

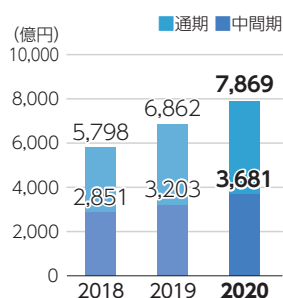
代表取締役社長  
最高経営責任者

奥田 修

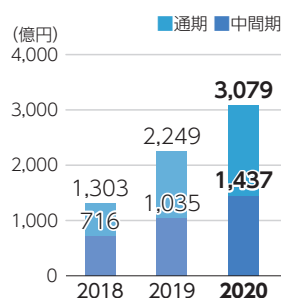


#### Core実績連結財務ハイライト(2020年1月1日～2020年12月31日)

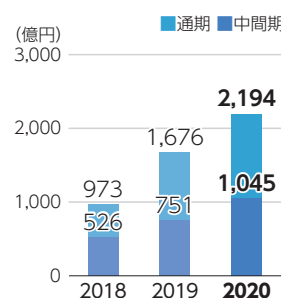
**売上収益 7,869億円**  
(前年同期比 14.7%増)▲



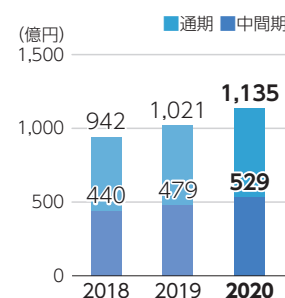
**営業利益 3,079億円**  
(前年同期比 36.9%増)▲



**当期利益 2,194億円**  
(前年同期比 30.9%増)▲



**研究開発費 1,135億円**  
(前年同期比 11.2%増)▲



▶ より詳細な業績の情報は、当社のIRサイト <https://www.chugai-pharm.co.jp/ir> をご覧ください。

中外製薬 IR

検索

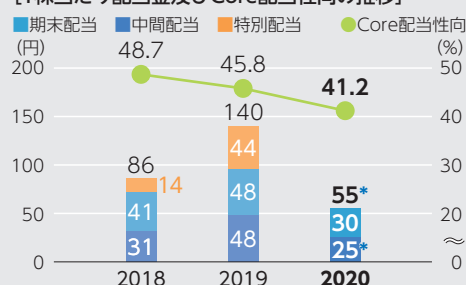
#### 2020年12月期期末配当について

戦略的な投資資金需要や業績見通しを勘案したうえで、Core EPS対比平均して45%の配当性向を目処に、株主の皆様へ安定的な配当を行うことを目標といたします。2021年3月23日開催の株主総会において、期末配当の実施につき、次のとおり決議いたしました。

期末配当金

1株につき**30円**

#### [1株当たり配当金及びCore配当性向の推移]



\* 2020年度の配当額は期首に株式分割が行われたと仮定して算定した金額であります。

# 「ヘルスケア産業のトップイノベーター」を目指して

## 海外製商品売上高の増加が業績を牽引 売上収益、利益の過去最高を4期連続更新

2020年度は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の蔓延により、当社の事業活動においても一定程度の影響を受けたものの、業績への大きなマイナスインパクトは生じませんでした。

連結業績(**Core実績**<sup>※1</sup>、以下同)は、薬価改定や後発品の影響により国内製商品売上高が減少した一方で、自社品のロシユ向け輸出、および**ロイヤルティ**<sup>※2</sup>等収入及びその他の営業収入がいずれも大きく拡大したことから、売上収益が7,869億円(前年同期比14.7%増)と大幅に増加しました。利益面は、増収効果によって経費の増加を吸収したことに加え、製品構成においてロシユ導入品よりも利益率の高い自社品比率の増加などに伴い製商品原価率が改善したため、営業利益3,079億円(同36.9%増)、当期利益2,194億円(同30.9%増)と大きく成長し、売上収益とともに4期連続で過去最高を更新しました。

国内製商品売上高は、2020年4月の薬価改定と後発品の影響を受け、4,091億円(同6.5%減)となりました。がん領域は「テセントリク」「アレセンサ」「パージェタ」が堅調に推移したものの、「アバスチン」「ハーセプチン」の売上が減少しました。骨・関節領域は「アクテムラ」「エディロール」、腎領域は「ミルセラ」の売上がそれぞれ減少しました。一方、その他領域の「ヘムライブラ」と2020年8月に発売した「エンズプリング」は順調に市場浸透しました。

海外製商品売上高は、ロシユ向け輸出において、COVID-19の拡大を背景に「アクテムラ」が大きく増加し、「ヘムライブラ」「エンズプリング」も寄与したことから、2,242億円(同48.2%増)となりました。

ロイヤルティ等収入及びその他の営業収入は、「ヘムライブラ」に関するロイヤルティ及びプロフィットシェア収入の増加などにより、1,536億円(同57.9%増)となりました。



代表取締役社長  
最高経営責任者  
奥田 修

## 3カ年中期経営計画を1年前倒しで終了し 新成長戦略「TOP I 2030」を策定・始動

3カ年中期経営計画「IBI 21」は、2年目の成果として、以下のとおり重点テーマにもとづく成長戦略を進展させました。

「成長ドライバーの価値最大化」では、自社創製品「ヘムライブラ」「アクテムラ」「アレセンサ」の海外における浸透が大幅な利益成長をもたらしました。また4つ目の自社創製グローバル品となる「エンズプリング」を日本国内および米国をはじめとした世界各国で発売しました。ロシユ導入品では「テセントリク」「カドサイラ」が、それぞれ適応拡大の承認を取得しました。

「次世代成長機会の連続創出」では、次世代抗体となる**スイッチ抗体**<sup>※3</sup>「STA551」が固形がんを対象とする第I相臨床試験を開始し、アトピー性皮膚炎を予定適応症とした「ネモリズムマブ」が導出先を通じて国内で承認申請を果たしました。

「個別化医療高度化・デジタル活用基盤の構築」では、血液検体を用いた固形がんに対する包括的ゲノムプロファイリングの提供を目指し、「FoundationOne Liquid CDx」の承認申請を行いました。デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進に向けた戦略としては、「CHUGAI DIGITAL VISION 2030」を策定しました。

「抜本的な構造改革実行・Sustainable基盤強化」では、新人事処遇制度の運用を開始し、コーポレート組織の再編と業務の集約を実施しました。世界の代表的なESG投資指数「Dow Jones Sustainability Indices」の全世界版である「DJSI World」の構成銘柄に初めて選定されたことも、Sustainable基盤強化の成果と考えております。

こうした進展に加え、想定を上回る利益拡大を遂げたことを踏まえ、「IBI 21」については、計画最終年度を残して1年前倒しで終了し、新たな成長戦略を策定することとしました。

2021年度は、この新成長戦略「TOP I 2030」を始動し(→**特集ページをご参照ください**)、2030年に向けてトップイノベーター像を具現化すべく、「世界最高水準の創業の実現」および「先進的事業モデルの構築」への取組みを進めてまいります。

なお、世界的な脅威となり社会変容を招いているCOVID-19への対応については、ステークホルダーの皆様と従業員の安全を最優先に考え、各種感染拡大防止策に取り組むとともに、医薬品の安定供給のため、国内外の状況・影響を把握し、機能ごとの事業継続体制や重要課題について必要な対策を講じております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ✓ 用語解説

- ※1 **Core実績** …当社事業の核(コア)である医薬品事業から発生する経常的な収益性を管理するための指標。IFRS(国際会計基準)実績から、当社が非経常的と捉える事象に係る損益等を除いたもの。
- ※2 **ロイヤルティ** …知的財産権等の利用に対する対価。
- ※3 **スイッチ抗体** …疾患部位で特異的に高濃度になる分子量の小さな分子の存在下でのみ標的抗原に結合するようにデザインされた抗体。

# 新成長戦略

## 「TOP I 2030」を策定

当社は、中期経営計画「IBI 21」を1年前倒しで終了するとともに、ミッションステートメントに掲げた目指す姿(Envisioned Future)の実現を目指し、2021年から2030年までの新たな成長戦略「TOP I 2030」(トッピ アイ 2030)を策定しました。ロシュ社との戦略的アライアンスをベースに、更なる競争優位の獲得と持続的な利益成長・企業価値拡大の実現を目指して、新たなステージでの変革に取り組んでいます。

### 基本方針

事業活動の持続的な発展のために、企業は社会課題と真摯に向き合い、解決に向けて取り組むことが求められます。中外製薬は、革新的医薬品を核としたイノベーション創出による社会課題の解決を通じて、当社および社会双方の発展を目指しています。

## 2030年トッピイノベーター像

当社はロシュ社との協働のもと、「革新的新薬」を事業のコアに据えながら、製薬企業に限らず多様なプレーヤーがイノベーションに挑戦する世界のヘルスケア領域においてトップクラスのイノベーターを目指すべく、2030年の到達すべき姿を以下のように定めました。



### 世界の患者さんが期待する

世界最高水準の創薬力を有し、世界中の患者さんが「中外なら必ず新たな治療法を生み出してくれる」と期待する会社



### 世界の人財とプレーヤーを惹きつける

世界中の情熱ある人財を惹きつけ、ヘルスケアにかかわる世界中のプレーヤーが「中外と組めば新しい何かを生み出せる」と想起する会社



### 世界のロールモデル

事業活動を通じたESGの取組みが評価され、社会課題解決をリードする企業として世界のロールモデルになっている会社

新しい成長戦略  
名称・ロゴ

TOP INNOVATOR  
**TOP i 2030**

“TOP” には、「日本ではなく世界のトッピイノベーター」を目指す想いが込められ、“I” には、「イノベーター」に加え、価値創造の原動力は「人」であり、中外製薬グループ社員一人ひとりが「TOP I 2030」の実現を目指す主役であるという「私=I」の2つの意味が重ねられています。

### 「TOP I 2030」の2つの柱

## 『R&Dアウトプット 倍増』・『自社グローバル品 毎年上市』

### 世界最高水準の創薬 実現

- ▶ 独自の創薬アイデアを具現化する既存技術基盤の拡張と新規技術基盤の構築
- ▶ R&Dアウトプット倍増により毎年自社グローバル品上市
- ▶ デジタル活用およびグローバル先進プレーヤーとの連携強化によるイノベーション機会の加速

### 先進的事業モデル の構築

- ▶ デジタルを核としたモデル再構築による患者価値・製品価値の飛躍的向上
- ▶ バリューチェーン全体にわたる生産性の飛躍的向上
- ▶ 医薬品の価値最大化と収益の柱を目指したインサイトビジネスの事業化

Key Drivers ▶ DX ▶ RED\* SHIFT ▶ Open Innovation

※ RED : Research (研究) と Early Development (早期開発) の総称

## 新成長戦略の 2本の柱 と 実現に向けた 5つの改革

「TOP I 2030」の2つの柱は、「世界最高水準の創薬実現」と「先進的事業モデルの構築」です。

この2つの柱のキードライバーを3つ特定しました。RED SHIFT、DX(デジタルトランスフォーメーション)、そしてオープンイノベーションです。

中外の強みであり、価値創造の源泉である創薬から早期臨床開発までの機能(RED)にリソースを集中、投資を拡大することでアウトプットの向上を図ります。このために、すべてのバリューチェーンにおいてデジタルを徹底活用して、飛躍的な生産性向上に取り組みます。そして、これまで以上に外部連携に積極的に取り組むことで、自前主義ではなく、自社の強みとの融合によってイノベーションを創出していきます。こうして2030年にはR&Dアウトプットを倍増し、革新的な自社開発グローバル品を毎年上市できる体制となることを目指します。

「TOP I 2030」では、戦略の2本柱を実現するための具体策として、「創薬」「開発」「製薬」「Value Delivery」の各バリューチェーンとそれを支える「成長基盤」を合わせた「5つの改革」を掲げています。

### 成長戦略実現に向けた5つの改革

#### ① 創薬

- ▶ 独自の創薬アイデアを具現化する既存技術基盤の拡張と新規技術基盤の構築
- ▶ デジタル活用およびグローバル先進プレーヤーとの連携強化によるイノベーション機会の加速

#### ② 開発

- ▶ ヒト予測の高度化や複数疾患同時開発等による製品価値早期最大化
- ▶ デジタルを活用した先進的かつ効率的な臨床開発オペレーションの実現

#### ③ 製薬

- ▶ 競合優位な中分子生産技術の確立
- ▶ 世界最高水準の抗体製薬技術の確立と開発スピードの実現
- ▶ デジタル・外部を活用した効率的な生産体制の構築

#### ④ Value Delivery

- ▶ デジタルを活用した革新的な顧客エンゲージメントモデル構築による顧客価値最大化
- ▶ 独自のエビデンス創出による更なる個別化医療の実現

#### ⑤ 成長基盤

- ▶ イノベーション創出を支える人財獲得、人事制度・最適組織体制の構築と運用
- ▶ CHUGAI DIGITAL VISION 2030 実現
- ▶ 地球環境対策の実行
- ▶ 質と効率を両立するクオリティマネジメント
- ▶ インサイトビジネスの事業化模索

## 企業価値向上・株主還元の考え方

当社は、イノベーションに集中し、患者中心の高度で持続可能な医療を実現することにより、持続的に利益を創出し、企業価値向上を図ることを基本的な戦略としています。そして、こうして得た成果は、資本市場での評価獲得と安定した配当を通じて、株主の皆様へ還元していく考えです。

安定的な配当を継続的に行うことを目標とし、配当性向としてはCore EPS対比で平均して45%を目処とする方針です。今後も、着実な利益成長を続け、適正な株主還元を行ってまいります。

新成長戦略「TOP I 2030」を  
さらに詳しく知りたい方はこちら





## 2020年度トピックス

- 9月** | 東京ガールズコレクションにおいて、  
オンラインによる乳がん疾患啓発活動を実施
- 10月** | 在宅福祉移送サービスカーの寄贈
- 11月** | 東京都にCO<sub>2</sub>削減クレジット  
1.4万トンを寄付  
「IR優良企業賞」を受賞  
世界的なESG投資指数  
「DJSI World」に初選定
- 12月** | 女優 戸田恵梨香さんを起用した新企業広告  
「私だけの治療法をください。」篇 放送開始  
血友病A治療薬ヘムライブラの創製に関し、  
「第4回日本医療研究開発大賞 厚生労働大臣賞」を公立大学法人奈良県立医科大学と  
共同受賞

## COVID-19に対する医薬品の臨床開発の状況

### 新型コロナウイルス感染症に伴う肺炎(COVID-19肺炎)に対するアクテムラの臨床試験

- 海外では、重症COVID-19肺炎による成人入院患者を対象に、ロシュ社がレムデシビルとの併用による第III相臨床試験(REMDACTA)をはじめ、複数の臨床試験を実施しています。
- 国内においては、重症COVID-19肺炎による入院患者を対象に第III相臨床試験を実施しています。

### COVID-19に対する抗体カクテル療法の導入

COVID-19に対する抗体カクテル療法について、日本における開発権および独占的販売権を2020年12月にロシュ社より取得しました。

### ロシュ社よりCOVID-19に対する経口新薬候補品導入

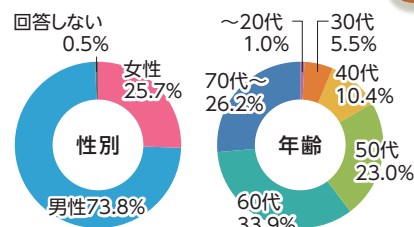
COVID-19に対する経口薬AT-527について日本における独占の開発権および販売権をロシュ社より取得しました。現在、AT-527の軽症から中等症COVID-19患者を対象とした複数の第II相臨床試験が進行中です。

## 株主コミュニケーションボード

### 株主様アンケート 集計結果

▶実施期間：2020年8月27日～9月30日  
▶返信数：183件

2020年度中間期 株主通信で案内させていただいたアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。いただきましたご意見の一部をご紹介します。皆様からの貴重なご意見を活かし、IR活動の更なる充実に努めてまいります。

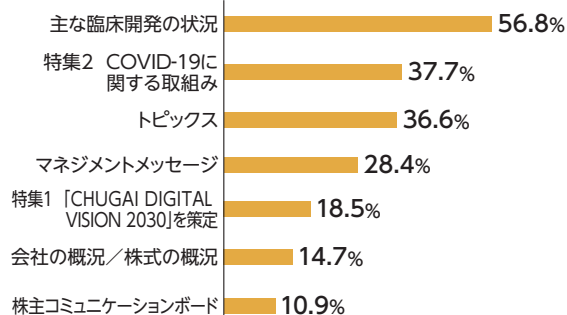


#### ▶株主通信について

##### 【株主通信の評価】



##### 【株主通信に興味を持った記事(複数回答)】



#### 【いただいたご意見・ご感想】



株主様

新型コロナウイルス感染症に「アクテムラ」は効果がありますか？

「アクテムラ」のCOVID-19に対する有効性・安全性は、確認されていません。現在、重症COVID-19肺炎に伴う入院患者さんを対象に、「アクテムラ」と標準的な医療措置併用時の安全性と有効性を評価する国内第III相単群試験を実施しています。



中外製薬



株主様

株主総会に出席したいのですが、地方での開催はありませんか？

第110回定時株主総会より、当日の総会の様子をご覧いただけるよう、インターネット配信を始めました。株主の方ならどなたでもご覧いただくことができますので、ぜひご活用ください。



中外製薬

## 会社の概況／株式の概況 (2020年12月31日現在)

### 会社概要

会社設立	1943年(昭和18年)3月8日
創業	1925年(大正14年)3月10日
資本金	73,201,755,723円
従業員数	7,555名(連結)
本店	東京都北区浮間五丁目5番1号
本社事務所	東京都中央区日本橋室町 二丁目1番1号

### 役員(2021年3月23日現在)

#### 取締役

代表取締役会長	小坂 達朗
代表取締役副会長	上野 幹夫
代表取締役社長	奥田 修
社外取締役	奥 正之
社外取締役	一丸 陽一郎
社外取締役	桃井 眞里子
取締役	クリストフ・フランツ
取締役	ウィリアム・エヌ・アンダーソン
取締役	ジェイムス・エイチ・サブリエ

#### 監査役

常勤監査役	佐藤 篤史
常勤監査役	大箸 義章
社外監査役	二村 隆章
社外監査役	前田 裕子
社外監査役	増田 健一

### 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
配当金	期末配当金受領株主確定日 毎年12月31日 中間配当金受領株主確定日 毎年 6月30日
公告	電子公告により行います。 ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
1単元の株式数	100株

### 株式状況

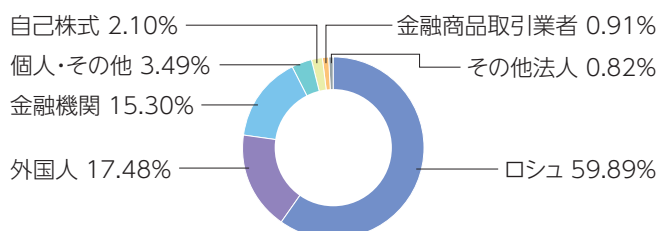
発行可能株式総数	2,399,415,150株
発行済株式の総数	1,679,057,667株 (自己株式35,186,586株含む)
株主数	34,921名

### 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ROCHE HOLDING LTD	1,005,670	61.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	105,907	6.44
JP MORGAN CHASE BANK 385632	60,658	3.68
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	48,548	2.95
株式会社日本カストディ銀行(信託口7)	18,546	1.12
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	14,518	0.88
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	14,460	0.87
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	12,283	0.74
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	9,930	0.60
株式会社日本カストディ銀行(証券投資信託口)	9,849	0.59

※当社は自己株式35,186千株を保有しておりますが、上記の大株主(上位10名)の中には含めておりません。  
※上記の「持株比率」は、発行済株式の総数から自己株式の数を控除して計算しております。  
※上記の「株主名」は、株式会社証券保管振替機構から通知された「総株主通知」に基づき記載しております。

### 株式分布状況



### 株主名簿管理人

#### 特別口座の 口座管理機関 (連絡先)

三菱UFJ信託銀行株式会社  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-232-711 (通話料無料)  
(受付時間 土日祝祭日等を除く平日9:00~17:00)

### 上場証券取引所

東京

### 単元未満株式買取・買増請求制度のご案内

当社株式の証券市場での取引は100株単位(1単元)となっておりますため、単元未満株式(100株未満)を市場で売買することはできません。このため、当社では「単元未満株式買取・買増制度」をご用意しております。単元未満株式をご所有の株主様は、是非買取・買増制度のご利用についてご検討くださいますようお願い申し上げます。なお、お手続きはお取引先の証券会社または上記三菱UFJ信託銀行連絡先にお申し出ください。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサル  
デザインフォントを採用しています。



用紙は、FSC®森林認証紙を使用しています。インキはVOC(揮発性有機化合物)が1%未満のノンVOC  
インキを使用しています。印刷は有害物質を含む湿し水を使用しない、水なし印刷を採用しています。



すべての革新は患者さんのために



中外製薬株式会社

Roche ロシュ グループ

〒103-8324 東京都中央区日本橋室町 2-1-1  
TEL.03(3281)6611 (代表)